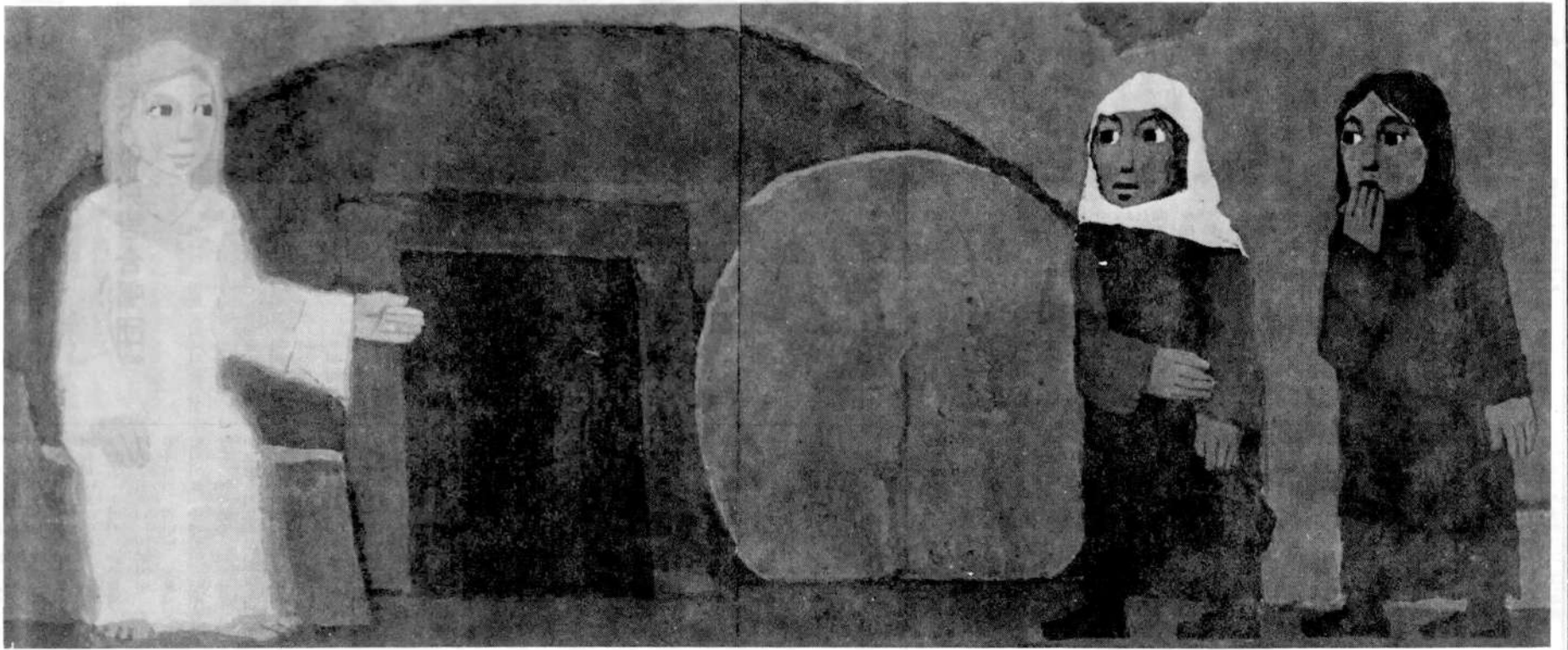


1. 教會에 革新을!
2. 社會에 變革을!
3. 世界에 所望을!



## 三・一節과 부활절

朴炯圭

삼월은 봄이 시작되는 달이다. 모진 추위의 겨울을 종은들이 참고 사임한 나무들이 새싹을 틔우는 생명의 움트기 시작하는 계절이다.

해돋이 햇빛은 나무가지들에 파릇파릇 새싹이 솟아나고 나무들의 죽은 모양이 산 모양으로 전환하는 것을 볼수있는 때이다. 우리는 이 계절에 의지하는 두개의 축제를 맞이하게 된다. 하나는 국가적인 축제인 3·1절이고, 또 하나는 교회적 축제인 부활절이다. 금년에는 이 두개의 축제가 같은 3월에 끼어 있다.

3·1절과 부활절이 무슨 상관성이 있겠는가? 일견 아무런 연관성도 없는 것 같아 보이는 이 두개의 축제는 그 의미를 따지고 보면 상당히 깊은 관련이 있음을 알게 된다.

3·1운동은 한반도에서 역사를 형성해온 배달 민족의 언어 오랜 침체와 억압을 겪은후 근대적인 언어와 사고로써 새롭게 그 생명력을 발현한 사건이었다.

비록 암담한 일제의 무력탄압으로 그 운동은 실패로 돌아갔다고 해도 그새로운 민족의 생명력은 그때부터 영원히 살아서 민족의 역사를 만들어 가는 데 기본적인 정신이 될 것이다. 3·1운동은 한국의 자주독립국가임을 선언한 하기의 민족운동으로 끝난 것이 아니라 보다 중요한 것은 이 운동이 우리 민족의 동일성과 합의를 가장 선명하게 드러내는 역사적 계기가 되었다는 점이다.

우리 민족의 역사상 男女老少 有識無識 上下계급을 막론하고 국민의 뜻과 마음이 이렇게 하나로 뭉칠수있었던 일은 이전에도 없었고 그후에도 없었다. 이런 의미에서 3·1운동은 우리의 민족공동체가 지향하는 공동사회의

기본구조를 제시한 사건이었다. 평등과 이해와 참여를 원하는 사회 이룩되는 자유와 정의의 사회 이것은 3·1운동의 신념들이 우리에게 남겨준 민족적 과제이다.

3·1운동은 전형적인 비폭력 민족운동이었다. 신념들의 평화적 시위는 탄압자의 무력에 부딪쳐 피를 쏟았다. 그러나 비폭력의 길은 가장 확실한 승리의 길이다.

3·1운동은 우리에게 비폭력시위의 전통을 물려주었고 4·19는 그것에 입각한 비폭력의 승리를 일깨워 주었다. 5·16군사혁명에의 하여 한국의 비폭력운동의 전통이 잠시 단절되기는 하였으나 그후에 있었던 권력의 횡포와 부정부패를 규탄하는 수많은 민족시위는 모두가 이 비폭력의 전통을 계승한 것이었다.

우리는 3·1절을 기념하면서 한국의 미래를 결정하는 것은 군사력이나 폭력이 아니라 평화적 수단에 의한 민족의 운명을 정하는 것이라는 확신을 새롭게 하게 되는 것이다.

끝으로 3·1운동은 철저하게 미래지향적인 운동이었다. 선열들은 다가오는 밝은 세계를 멀리 바라보며 희망찬 앞날을 설계하고 있었기 때문에 그토록 잔인한 일본인에 대하여 추호도 증오의 감정을 품을수 없었다.

그들은 한국의 독립을 선언하면서 어떻게 말을 시작한다. 「아,新天地가 전개되다. 위력의 시대가 가고 도義의 시대가來하다. 과거 全世紀에 練磨長養된 인도적 정신이 바야흐로 신문화의 서광을 인류역사에 투사하기 시작하도다」 3·1운동의 미래에 대한 비전은 실은 먹구름 때문에 자주 가리워지기도 했다.

고 도義의 시대가 온다는 그 전망은 그 자신은 우리 민족의 생존과 투쟁을 뒷받침해 주는 신앙인 것이다. 그리스도인들이 부활절을 당하여 고백하는 신앙은 어떤 것인가? 유대인 지도층과 로마의 관권이 결합한 폭력적인 민중의 평화적 지도자인 나사렛 예수가 무고히 피를 흘렸다는 그 사건 이로서 주는 것은古今東西를 막론하고 이어나 언제나 있었던 일이다. 그리고 그것은 억울한 아가들을 모두 거기서 끝냈다. 그런데 나사렛예수의 이야기는 오늘날까지 계속되고, 그가 다시 세상에 오는 날까지 계속될 것이다.

그는 죽은 자 가운데서 부활했기 때문이다. 그의 부활은 모든 부의미한 죽음들의 미치게 만들고 모든 실패를 승리로 바꾸어 버렸다. 그리스도의 부활이 없었다면 기독교는 존재하지 않았을 것이고 기독교가 없는 세상은 지금 우리가 사는 세

계와는 다를 것이다. 우리는 부활의 신앙을 가졌기때문에 죽음을 넘어선 인간의 운명을 긍정할수 있고 세계와 역사의 완성을 향해 전진할수 있는 것이다. (「解放의 길」에서)

### 카나다長老教會視察團來日

우리 교회와姊妹관계를 맺고 宣敎활동에 크게 이바지해온 카나다長老교회에서 선교百주년 기념식참방문단일행 40명이 오는 4월27일에 일본에 도착하게 된다.

금번의 방문은 카나다長老교회와 깊은 관계를 맺고 있는 台灣교회, 인도 교회도 방문하게 되는데 본교회에는 4월27일부터 29일까지 關東지방 29일부터 30일 關西지방 그리고 5월1, 2일은福岡교회등을 방문하게 된다.

본교회에서도 선교百주년 기념식의 일환으로 있었던 특별집회에 장사로 李仁夏총회장이 渡加한적이 있으며 오는 5월에는 합창단 일행 40명이 渡加하게 된다.

### 今年度試取요령公告

4月7日、京都教會서

총회 試取局에서는 一九七五年度 牧師・長老・講道師의 試取를 다음의 요령으로 實施한다.

- (1) 時日 4月7日(月) 午前10時~午後5時
- (2) 場所 神戸教會(神戸市長田區連池町二四電話〇七八八)四五〇一
- (3) 試取科目  
①筆記 長老a 教理b 舊新約聖書概論及教義c  
②口頭 召命感 教會觀 聖書觀 教會政治 其他

### 4月8일에 任職委員會

총회 임직위원회가 오는 4월8일 神戸教會에서 開催될 예정이다.

京都府知事免許(1)1805

## 大発住宅センター

代表者 金昌業  
(京都教會長老)

〒615 京都市右京区西院西淳和院町22  
電話 075(311)0063

## 株式会社朝日鋳工

社長 平山浩造

堺市鳳東二  
電話 0722(71)1561

# カナダ교회와親善기해

## 渡加準備에바쁜“아리랑합창단”



“아리랑합창단” 團員들

カナダ 장로교회에서는 선교 100주년을 맞이하여, 선교강조주간(5월8일~16일)을 정하고 각처에서 특별집회를 가지게 되는데, 우리 총회에서는 “아리랑 합창단”이 파견되어 성가로서 봉사하게 되었다.

カナダ 장로교회 선교 100주년 기념위원회 특별 초청을 받고 캐나다에 가게 되는 아리랑합창단은 단장에 김元治목사(西成教會) 지휘자

유용제 합창이다(요한복음8장32절)

△時日 4월3~5일

△場所 天城山莊

靜岡縣天城湯ヶ島町湯ヶ島一八六〇 電話〇五五八八〇六二五

△參加費 八〇〇〇円

# 研修會計劃案결정

## 婦人會全國連合會

부인의 전국연합회(회장인 인숙)에서는 각부 연수회를 다음과 같이 개최한다.

부인의 발전과 부인들 자신의 성장을 위해 갖게되는 금번 연수회에는 젊은 회원을 위한 많은 참가를 요망하고 있다.

△主題 女性과 사회

△副題 同胞의 解放을 指向하는 教會

△主題講師 中島正昭牧師(日本NCC總幹事)

△聖句 전리가 너희를 자유케 하리라

# 政治문제로 激論

## 關東地方會 연합諸職간담회

關東地方會 연합 제직 및 사하 역원간담회가 교육부주최로 지난 2월11일 東京교

# 朴昌煥牧師委任式

## 川 西 教 會



박 창 환 목 사

지난 2월9일, 날씨도 따뜻한 좋은 일기가운데 박昌煥목사의 就任式이 川西教會에서 내빈과 교인 百여명이 참석한 가운데 거행되었다.

당회장 洪永其목사의 사회로 찬송31장을 부른 다음 副總會長 金元治목사의 기도 후 사회자가 성경 마태복음4장18~22절을 낭독한 후 金炯奎목사의 지휘로 川西教會聖歌

회에서 열렸다.

개회예배는 吳允吉 목사가 실행하였으며 제2부에 들어간 각대표들의 방제가 있었다.

장로 대표로 金漢鎭장로(西新井교회) 집사 대표에 金哲淳집사(橫濱교회) 부인회 회장 慶惠氏 青年會會長 李

省展氏들의 發題가 있던 후 金君植목사의 사회로 토론에 들어갔다.

전반적으로 복음 이해에 관한 문제가 중심이었으며 우리 교회의 사명이 어디에 있는가를 진지하게 논의하였다.

마침 한국에서 추방당한 오

하여 金元治목사는 박昌煥목사가 多摩川教會 청년으로 있을 때부터의 經過를 소개하면서 이제 川西教會의 목사로서 一生 視務해주시기를 바라고 말하고 田永福목사는 川西教會가 朴牧師를 新鄕과 같이 맞이해서 교회의 부흥과 발전을 이루어주시기를 바라고 하였다.

그리고 廣瀬利男牧師는 친구로서 박昌煥목사가 영혼의 문제와 肉身生活의 문제를 잘 다루는 선한 목자가 되어주시기를 바라고 말하였다.

그다음 당회장 洪永其목사가 박昌煥목사의 經歷과 川西教會에 就任하게된 經過를 소개하였다.

그리고 同教會許天五장로의 祝電披露, 方樂實장사의 인사말이 있은 후 총영 24장을 부르고 박昌煥목사의 축도로 就任式을 끝마쳤다.

▲朴昌煥牧師 略歷

# 《私の信仰体験》 6・25動乱を通じて (2)

李 大 京

▽神學をめざして 私たちの家族は戦禍をのがれ

て、無事に陸地(全羅北道)に着いたのは船から降りて一週間後であった。島で育った私の目に映る陸地の風景は、文字通り殺風景そのものであった。日本帝國主義の植民地政策の苛酷さをしみじみと感じさせるものであった。松の皮がほとんどむけられていた。理由をきくと食糧に充当するところである。済州島よりも米作の中心地であるはずの全羅北道、特に金堤萬頃平野といえは全国有数の平野地帯であり、穀倉地帯でもある。

このような穀倉地帯の農村の人々が、ほとんど搾取されて悲惨な状況におかれている事実を目にする時、明日への不安が心配されるのであった。せっかく戦禍をのがれて安全な所に引越したはしたが、私たちが待ちかまえていたものは、食べるものがないというところであった。

私たちの家族が定着地である金堤に着いても、まだ住む家があるものでもない。知人もない未知の土地である。私たちの家族を招いた方は李根浩牧師であった。彼(今は召されている)は、私の父を信仰に導びいた信仰の父であり、また私にも洗礼を授けた牧師である。

李根浩牧師は済州島で長年牧会をしておられたが、たまたま病院に入院していた父に伝道して、父を教会に導いた方である。それから数十年、私たちの家族は李牧師を信仰の父と呼んできたのである。

さて、私たちが定着する村は世帯数40戸程度の小さな農村である。周囲には二、三軒のぞいて信者はいない。また済州島に対する偏見が陸地の人々にはいせんとして強いものがある。

私の別名は小学校では、済州島。として通っていたのである。13才の私には、ほんとうに腹の立つところであった。何回かケンカをした覚えがある。

私たちの家族は、金堤に到着してからは、毎日のように、とうとう不安な日々を送っていたが、ついに感激のニュースが私の耳に入ってきた。それは一九四五年八月十五日のラジオ放送であった。解放された。しかし少年の私には解放といっても実感がない。その時までは、私はりっぱな日本人だと思っていたし、小さな夢として将来、日本の軍人にもなつて、米英軍と戦う、ということも考えていたのである。教育というものの悲しさをあらためて感ずるものであった。

しかし日がたつにつれ、わが民族が歩んできた歴史を知り、民族の受難の歴史を心に留めるのであった。解放された後の政治的、社会的状況は困難な時代であり、過度期でもあった。いたる所でテロが発生し、私たちの教会の長老も、左翼のテロに家が破壊されたのである。

ミッシェン・スクールである全州新興中学校に私は、復校第一期生として入学した。復校ということは、日帝の時に、神社参拝問題で校長(崔牧師)は追放され、学校は閉鎖されたのである。全州の警察署長が、全校生を神社に集めて、集団参拝をさせようとしたが、生徒たちはその場に座りこんで泣いてしまったから学校が閉鎖される原因になったのであると、先輩の牧師から聞いた。

この学校の規律は厳しく、毎

日のようにチャペルに通わなくてはならなかった。私が中学校に入学してから、教会には信仰的にならなかった。遊び半分の生活である。当時、教会での生活は非常に活発なものであった。しかし私は、そこには何の関心もなかった。その時間があればスポーツ(バスケットボール)に熱中していた。皮肉にも当時、誰もが、将来教会を背負って行く者であると思われていた学生生活家たちは、ほとんど現在、信仰生活から離れた。学校、教会でも問題ばかり起して物議をかもしていた者が今は牧師として神に仕えているのである。

中学校三年の頃、私は何を考えたか、神学校に入るつもりで一人でソウルに行き、朝鮮神学大学(現韓國神大)におもむいたのである。

(西新井教會牧師)

# 東和食品株式会社

代表取締役 李 東 和

東京都江東区永代2-11-3

# 太栄企業株式会社

代表取締役 金 光 洙

事務所 名古屋市熱田区八千代通3丁目11番地  
(名古屋市中央卸売市場入口南側太栄ビル)  
電話 052(682)1177(代)  
自宅 名古屋市千種区猪高町猪子石原宇太田  
電話 052(771)5952

# 教会の反省と展望

申京煥君の問題をにないつつ

金 芳 植

一人の信徒として、今迄、教会が、私個人が社会問題にならなかつたことに対し、反省し、今後の展望を(申京煥君の問題を通して)のべてみたいと思ふ。

宣教六十周年を記念し、「キリストに從つてこの世へ」のスローガンの下に教会全体が活動して来ましたが、私はこの「スローガン」に教会の体質が見られると思ふ。それは、信仰と社会、教会と社会という、二元論です。

私たちキリスト者は、キリストと共に社会へ出て、何かしなければ……という発想だと思ふ。イエスは上から下を見ていたのではなく、下から上を見ていた。差別されていた者のそばに生れた時からいたのです。イエスは十字架の道を歩まれたにもかかわらず、その様な人々を慰め、勇気づけられたのです。教会と社会という二元論的発想は今だに私達の行い、行動が神の御

心にならうものだろうか？という問いの下では、ちやうど不安に襲われ、何もできません。「社会不正義の闘い、民族の解放」は、神の御心にならうものであるから、よじとされているから、やらなければならないのです。

私たちがほんとうに恐れなければならないのは神の審判であり、人間がその恩恵ではないのです。人間がその恩恵ではないのです。人間がその恩恵ではないのです。人間がその恩恵ではないのです。

「申京煥」と「日立」の同質の問題とは一体何であるかという点に苦しみ、その苦しみは、日本を名乗る者として、日本人全部の罪を自分一人に背負います。何をしたらよいのでしょうか？どう教えるのでしょうか？……このような発想の下には、真の連帯は生まれず、溝は深まるばかりです。中には、朝鮮人コンプレックス

## 新刊紹介

李基豊牧師の生涯 『殉教譜』 李 錫 札 著

## 解放の記録から

朴炯圭牧師論説集

李基豊牧師の生涯 朴炯圭牧師論説集

李基豊牧師の生涯 朴炯圭牧師論説集

李基豊牧師の生涯 朴炯圭牧師論説集

# 迫害される民族教育 京都韓国学園建設問題 RAIK情報(4)

国際都市といわれ、革新市政といわれる京都市が、十三年間、京都市韓国学園の建設を阻む民族差別を温存し続けて来たのは、何故なのだろうか。

日本の革新といわれるものの虚構を少し見ただけで、民族差別にはかならない。一九六二年、第一次定地の銀閣寺周辺の住民は「もし韓国学園が建つたら京都の恒例行事である「大文字の送り火」を中止する」と京都市に圧力をかけた。市は住民の脅しに屈し、建設許可を撤回してしまつた。

第二次定地は一九六八年に在京区豊原とするも、同様に地元住民が用地買収に対し、用地への導入道路を当時の時価の十倍で買わなければならない、法外な要求をし、あきらめざるを得なかった。

そして第三次定地として、一九六五年に東山区本多山の山林を買収し、ここを造成し、学園を建設しようとした。一九七一年京都市は、過酷ともいえる条件を示し、造成許可を学園に発行した。これに対し地元住民

は、自然破壊であるという理由で反対運動を組織し、現在に至つていふ。

こうした地元住民の頑迷な反対理由は、地域エゴイズムばかりでなく、日本の近代百年の間に形成されてきた東洋蔑視、排外主義、なかななく朝鮮民族に対する蔑視・偏見に基づく民族観が反対理由の底流をなしているからにはかならない。いわく「韓国人の学校だから」「他校の生徒とトラブルがあるから」「土地の評価が下がるから」

「土地の評価が下がるから」こうした本音は、京都市という地域のみでなく、日本社会の中に等しく存在しているものである。

一九四七年日本政府は、米国の占領政策にのっとり「外国人登録令」を公布し、民族教育に対する新たな抑圧政策をとりはじめた。翌年、文部省は在日韓国人子弟の日本人学校への「就学義務」を規定し、民族学校の設置を認めないとした。まさに「同化教育」の復活である。そして同時に、日本全国に点在していた民族学校に対し大弾圧をかけて閉鎖へと追い込んでいった。

さらに、一九四九年「団体等規制令」を持って民族団体を解散させていった。日本政府の抑圧政策はさらに続いた。一九五二年サンフランシスコ条約の発効にもよらず、それまで日本国籍を有しながらも外国人であるという規制から「日本国籍を離脱する」として「外国人登録法」を制定し、あわせて出入国管理令をもうけ、同化と抑圧と管理体制を確立したのである。つま

り、民族学校を壊滅させ、日本人学校へ追いやり、法的地位の差を生じ、思惑として日本の学校に入學させてやるといった抑圧政策を具体化したといったのである。一九六八年には「外国人学校法案」を日本国会に上程し、さらに抑圧政策を具体化しようとしていたが、廃案となつた。

民族教育の実態 これまで述べてきたように、日本政府の民族教育への抑圧政策と、日本人社会に潜在する排外主義、偏見・差別が、京都韓国学園の建設を阻害している真の要因である。

民族性を失つた、あるいは持たされぬ同胞子弟が、偏見・差別、抑圧にまけ、非行に走り、あるいは深い挫折に陥り、敗北主義、民族無主義者となつて行く現実を少しでも歯止めをかけるために、京都韓国学園

の移転建設は達成させなければならぬ。現在六十四万におよぶ同胞の八〇％が二世三世であり、世代が大きく変わりつつある。しかし、そうした若い世代への民族教育機関は、韓国系では、わずか三学園十一校である。一九七二年の統計によれば、同胞の学生総数一三四、六一名に対し、日本の公私立に在籍する者は、九六、九〇四名で実に七二％にのぼる。韓国系の民族学校に通う者は、わずか二％に満たないのである。悲しい現実であると同時に、在日同胞の教育に関し、本国政府の政策からは忘れられた存在であると言つても過言ではない。

このように、京都韓国学園の問題は、単に一地方都市におきける差別問題ではなく、同胞全体に対する教育差別、民族差別であるといえる。(つづく)

埋立工事ブルドーザー工事  
レッカー作業  
**金坂建設株式会社**  
金 再 龍  
岐阜市長良真福寺3332-2  
電話 32-4462(代)  
大阪出張所 (06) 932-6312

宅建千葉県知事登録(1)第3841号  
**三信商事株式会社**  
代表取締役 権 富 仁  
本社 千葉県八千代市米本1448-1  
電話 0474 (88) 5579・1613番  
営業所 千葉県船橋市前原西1-25-18  
電話 0474 (76) 6181・2番

食品・薬品包装業  
**加富利産業株式会社**  
代表者 金 漢 弼  
東京都足立区西新井本町4-25-12  
電話 03 (890) 0951番(代)

# 申京煥青年の闘いと全協の立場

金 性 侑

A我々の反省と基本的姿勢

申京煥青年、当年二十才、在日二世、即ち我が在日韓国基督教青年会とほぼ同世代であり、従って彼が過去を振り返り、過去の境遇は、我々基督教青年のそれとほとんど変わらない。その申京煥が、ともすれば闇のうちに日本国法務省の手によって強制送還されようとしていたわけである。

申京煥青年に対する法務省の措置は、申京煥のみならず、彼の両親と姉妹に対しても人権の侵害を意味するものです。しかしながら、この申京煥と彼の家族に迫った危機は決して単なる偶然のめぐりあわせではなく、在日韓国人に起るべくして起った歴史の必然性を持った問題であり、又申京煥の問題を通して在日韓国人が如何に非人道的な政策によって縛られ、人権が踏みにじられているかを暴露しています。従って申京煥の今回の

問題の根本的解決をはかるには、申京煥をはじめとする在日韓国人を不当に縛りつけている日本の法体系と対峙せざるを得ず、又この闘いの目標は、我々の政治的問題とならざるを得ません。このことは、在日韓国人の基本的権利が、如何に政治的に無視にも踏みにじられてきたかという点の証左でしょう。

然し今日に至って我々は、今ひとつの在日同胞の歴史的な現像を見逃すことができません。それは、四十五年の解放以後も新たに繰り上げられてきた入管令・外務法による政治的弾圧、そして祖国の分断、それによる国籍書換え問題による在日同胞に対する分断化政策、そしてそれをゆるがし難い枠の中にはめ込んだ法的地位協定の締結、又日本政府の民族教育弾圧による在日同胞に対する同化政策、そして日本人の排外主義による不当な差別というこの屈辱と敗

北で繰り返されたあまりにむごすぎる解放後の歩みの中で、又在日同胞の主流が一世から二世で生まれ育ち、日本語しか話せない二世、三世……へと変遷してゆく中で、在日同胞の中に「政治的解決」というものに対する深い挫折感と絶望の空気がみなぎり始めているのです。そしてこれは、在日同胞の同化傾向の深化と相俟って、増々広がっているのです。

さて、このように申京煥に、「強制退去令」が下されるに至るまでの差別、追放、そして売国奴の苦難の歴史の中で、我々が在日韓国教会は、如何なる信仰告白を以て生きてきたのか？ かの六十五年の在日同胞六十万と本国籍の血のまだ乾ききらない日本国動乱の血のまだ乾ききらない日本の植民地支配の歴史に照らし、又祖国の植民地支配の歴史に照らし、又何かができるのでしょうか、又何をしなければならぬのでしょうか。

我々基督教青年会は、この苦難の歴史の中で、在日同胞と共に解放の道を歩んでこなかった。我々教会の歴史の過ちから目を逸らすまい。このことは決して我々の意識の重圧の前の悲観的につまづくことではなく、過去において過ちを犯した者が再度同じことを繰り返さないための人間としての最低限の誠実さであり、道義的なものです。

我々基督教青年会は、この苦難の歴史の中で、在日同胞と共に解放の道を歩んでこなかった。我々教会の歴史の過ちから目を逸らすまい。このことは決して我々の意識の重圧の前の悲観的につまづくことではなく、過去において過ちを犯した者が再度同じことを繰り返さないための人間としての最低限の誠実さであり、道義的なものです。

在日韓国人や日本人と青年会の学習会、個教会での意識的な討論、地方会での祈禱会等を媒介として学習しつつ、情を宣うべくとす。とりわけ「犯罪を犯した青年など助ける必要はない。強制送還されても仕方ない」といった人たちの考え方を見過してはなりません。そのような考え方を人々にはこう問い返すべきです。「申君が犯罪を犯すに至るまで、又在日同胞が今日のような抑圧状況に追い込まれるまで、我々基督教青年会はどんな闘いをしてきたのでしょうか？ 在日同胞の抑圧の歴史を顧みるとき、決して本質的な意味で犯罪者とは誰なのでしょう？」と。次にこの会が、意識活動の対象とするのは、個教会の周辺地域の同胞への情宣活動は2つの目的を持って行います。ひとつは、申京煥の事件やそれによって明らかになった「協定永住許可」の永住権と、この偽善性やその背後にある韓国政府の政治的意図を彼等地域同胞に説明してゆくことです。しかし、今ひとつ重要な目的は、その「協定永住許可」の偽善性の犠牲者である申京煥が現

## 日立入社その後

朴 鍾 碩

四年近く続いた日立就職差別闘争は、本国のオモニチの日立製品不買運動、米国内におけるS・ケアリ氏を中心とした黒人キリスト者たちの日立アメリカ・ニューヨーク支店への抗議行動、日本国内で闘ってきた在日韓国人キリスト者、多くの理解ある日本人の方々の日立本社実力糾弾闘争によって、完全勝利することができました。とくに厳しい状況におかれながらも在日同胞の権威に心を砕いて立ち上った下った本国のオモニチ、キリスト者たちの闘争を見て、誰もが感動されたことと思います。

在日韓国人キリスト者、多く

の日本人はこれによって励まされ、より一層の自信と勇気を与えられたと思います。在日同胞の人権を勝ち取るため、世界的に運動が広がり、こうした四年間の闘いの成果として「永山の一角」にしかすぎない、一大企業日立の在日同胞に対する就職差別の壁は破られました。私はこの闘いで得たものを私自身はつきり認識し、今後も、在日同胞の人権を勝ち取っていくこと、どんな苦しい状況におかれても韓国として頑張りつづいていく、と決意を新たに昨午九月二日日立製作所ソフトウェア工場に入社しました。

当日、私は弁護士の中平氏に

付き添って頂き、会社の門前で二、三人のマスコミ関係者に感想を聞かれ「入社しても韓国人として、しっかり頑張っていく」と答へ、他の社員(従業員)と共に入社しました。始業時間の八時四十分、会社側から勤務部長、職場の部長、課長など五名の関係者があらわれ、私たちを迎えて下さり、二〇分ほど雑談を交わした後、中平氏は帰途についたため、私はもう一人のこと、会社側も緊張していたと思います。この日は、一日中、気を張りつめながら、健康診断、入所の手続き、労働契約書の手続き(一九七〇年九月二十一日に通つて)会社の概要説明を受けて午前中で退社しました。ソフトウェア工場は、電子計算機のシステム・プログラムを開発し、私は小型(三二・コンピュータ)部のシステム開発員(プログラマー)として採用されました。入社して二日間の導

入教育に続いて、一ヶ月間、生徒と講師一対一で教室を利用してコンピュータ入門教育を受け、その後職場(小型プログラム部)に配属され、既に自分のプログラムを一つ完成させ、現在新しい通信制御のプログラムを勉強しながら作成しています。教育期間中、講師は厳しく、また親切に教えて下さいました。このころは、まだ他の社員との接触は全くなし、講師と二人で休憩時間にコーヒーを飲みながら雑談を交わす程度でした。教育内容については、教材を手渡され、VTR(テレビ画面)スライドを利用して解りやすく教えていたのだいたうりですが、全く理解できない状態でした。「計算機について全く予備知識もなくか？」と自分を疑って絶望的な気持ちになった時もありました。しかし、所員教育の徹底さには驚くばかりでした。新入社員は

必ず業務日誌を提出するように義務づけられています。これは始めの三ヶ月間は毎日記入提出し、その後、同期間満了単位、月単位となっており、一日一日の業務内容、それに対する感想、意見、また上司に要望すること等を記入して、指導員、上司、勤務課の順に手渡され、アドバイスが記入されて自分の手元に返ってきます。入社して半年を過ぎましたが、教育期間中、週に一度、勤務課、小型部、教育担当の方々が集って懇談会を開いて、少しでも私の気持ちを和らげようとして「いま困っていることは何か？」という質問をしてくれました。この質問は、私自身、他の社員の人たちから聞きながら、ごく普通に振る舞い

高級婦人服製造卸

OK 商 会

金 京 秋

本町店 大阪市東区船場中央4丁目1番地  
船場センタービル8号館2F281号  
電話 大阪(06)251-5444番  
自 宅大阪東成区東小橋3-4-1番  
電話 大阪(06)981-2980番  
電話 大阪(06)974-7715番

トビー実業株式会社大阪支店 代行店

公 認 計 量 所

製鋼原料・製紙原料・非鉄金属・諸機械其の他

本 山 商 店

李 成 基

堺 店 堺市西湊町2-115  
電話 0722(41)2144番  
美原店 南河内郡美原町大保213-1  
電話 0723(62)3315番

ポリエチレン・スチロール・アクリラ  
イト・アセチロイド・ニューソ成型加工

三洋プラスチック工業株式会社

取締役社長 李 小 龍

東大阪市足代北1-12(近鉄布施駅5分)  
電話 大阪(06)783-0131番  
社長室 電話 大阪(06)781-2286番